

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	5-2401
研究課題名	環境中 PFAS の包括的評価を目指した総 PFAS スクリーニング測定技術の開発
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	谷保佐知

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

総 PFAS 測定法と測定手順の開発、信頼性評価およびその普及を目指した総合的な研究が計画通りに進められている。ノンターゲット総 PFAS の分析手法確立は、わが国独自の分析手法を持つ上でも重要な課題である。国際規格化に向けた取り組みに十分に貢献されているほか、国際共同研究も進められている。論文の公表、学会発表、国民との対話なども着実に実施されており、今後の成果が期待できる。サブテーマ1では、工業製品と環境底質中の PFAS 分布が異なることが報告されている。本研究を通じて、短鎖 PFAS の起源探査や環境中での PFAS のトランスフォーメーションに関する重要な成果が期待される。一方で、技能試験結果を測定の標準化にどのように生かすのか（サブテーマ1）、実試料測定の結果得られた新しい情報（サブテーマ2）については、さらに明確にしてほしい。